



基本的なデバイス管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [基本的なデバイス管理について, on page 1](#)
- [基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定, on page 2](#)
- [デバイスのホスト名の変更, on page 2](#)
- [MOTD バナーの設定, on page 3](#)
- [タイム ゾーンの設定, on page 4](#)
- [夏時間の設定, on page 5](#)
- [デバイス クロックの手動設定, on page 6](#)
- [クロック マネージャの設定 \(7 ページ\)](#)
- [ユーザーの管理, on page 8](#)
- [デバイス コンフィギュレーションの確認, on page 9](#)

基本的なデバイス管理について

ここでは、基本的なデバイス管理の概要について説明します。

デバイスのホスト名

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト (switch) から別のストリングに変更できます。デバイスに固有のホスト名を付けると、コマンドラインインターフェイス (CLI) プロンプトからそのデバイスを容易に特定できます。

Message-of-the-Day バナー

Message-of-The-Day (MOTD) バナーは、デバイス上でユーザログインプロンプトの前に表示されます。このメッセージには、デバイスのユーザに対して表示する任意の情報を含めることができます。

デバイスクロック

デバイスを NTP クロック ソースなどの有効な外部の時間調整機構と同期させない場合は、デバイスの起動時にクロック タイムを手動で設定できます。

クロック マネージャ

Cisco NX-OS デバイスには、同期が必要になることがある、異なるタイプのクロックが含まれている可能性があります。これらのクロックはさまざまなコンポーネント（スーパーバイザ、ラインカードプロセッサ、ラインカードなど）の一部であり、それぞれ異なるプロトコルを使用している可能性があります。

クロック マネージャには、これらの異なるクロックを同期する機能があります。

タイムゾーンと夏時間

デバイスのタイムゾーンと夏時間を設定できます。これらの値により、クロックの時刻が協定世界時（UTC）からオフセットされます。UTC は、国際原子時（TAI）をベースにしており、うるう秒を定期的に追加することで地球の自転の遅れを補償しています。UTC は、以前はグリニッジ標準時（GMT）と呼ばれていました。

ユーザセッション

デバイス上のアクティブなユーザセッションを表示できます。また、ユーザセッションにメッセージを送信することもできます。ユーザーセッションとアカウントの管理の詳細については、『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide』を参照してください。

基本的なデバイスパラメータのデフォルト設定

次の表に、基本的なデバイスパラメータのデフォルト設定を示します。

Table 1: デフォルトの基本的なデバイスパラメータ

パラメータ	デフォルト
MOTD バナー テキスト	User Access Verification
クロック タイムゾーン	UTC

デバイスのホスト名の変更

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト（switch）から別のストリングに変更できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **{hostname | switchname} name**
3. **exit**
4. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	{hostname switchname} name Example: hostname コマンドの使用 : <pre>switch(config)# hostname Engineering1 Engineering1(config)#</pre> switchname コマンドの使用 : <pre>Engineering1(config)# switchname Engineering2 Engineering2(config)#</pre>	デバイスのホスト名を変更します。 <i>name</i> 引数は英数字で、大文字と小文字が区別されます。デフォルトは switch です。 Note switchname コマンドは、 hostname コマンドと同じ機能を実行します。Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I7(3)以降、スイッチ名の最大長 63 文字がサポートされています。
ステップ 3	exit Example: <pre>Engineering2(config)# exit Engineering2#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>Engineering2# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

MOTD バナーの設定

ユーザーがログインするときに端末でログインプロンプトの後に MOTD が表示されるよう設定できます。MOTD バナーには、次の特徴があります。

- 1 行あたり最大 80 文字
- 最大 40 行

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**

2. **banner motd** *delimiting-character message delimiting-character*
3. **exit**
4. (Optional) **show banner motd**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	banner motd <i>delimiting-character message delimiting-character</i> Example: <pre>switch(config)# banner motd #Welcome to the Switch# switch(config)#</pre>	MoTD バナーを設定します。メッセージテキストでは、区切り文字を使用しないでください。 Note "または%は、区切り文字に使用しないでください。
ステップ 3	exit Example: <pre>switch(config)# exit switch#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	(Optional) show banner motd Example: <pre>switch# show banner motd</pre>	設定された MOTD バナーを表示します。
ステップ 5	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

タイムゾーンの設定

UTC からデバイスのクロック時刻をオフセットするためにタイムゾーンを設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **clock timezone** *zone-name offset-hours offset-minutes*
3. **exit**
4. (Optional) **show clock**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	clock timezone zone-name offset-hours offset-minutes Example: switch(config)# clock timezone EST -5 0	タイムゾーンを設定します。zone-name 引数は、タイムゾーンの略語（PST や EST など）である 3 文字の文字列です。offset-hours 引数は、UTC からのオフセット値であり、有効な範囲は -23 ~ 23 時間です。offset-minutes 引数の範囲は、0 ~ 59 分です。
ステップ 3	exit Example: switch(config)# exit switch#	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	(Optional) show clock Example: switch# show clock	時間とタイムゾーンを表示します。
ステップ 5	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

夏時間の設定

デバイスで夏時間を有効にする時期と、オフセット（分単位）を設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **clock summer-time zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes**
3. **exit**
4. (Optional) **show clock detail**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example:	グローバル設定モードを開始します。

	Command or Action	Purpose
	<pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	
ステップ 2	<p>clock summer-time <i>zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes</i></p> <p>Example:</p> <pre>switch(config)# clock summer-time PDT 1 Sunday March 02:00 1 Sunday November 02:00 60</pre>	<p>夏時間を設定します。</p> <p><i>zone-name</i> 引数は、タイムゾーンの略語 (PST、EST など) である 3 文字のストリングです。</p> <p><i>start-day</i> 引数と <i>end-day</i> 引数の値は、Monday、Tuesday、Wednesday、Thursday、Friday、Saturday、および Sunday です。</p> <p><i>start-month</i> および <i>end-month</i> 引数の値は January、February、March、April、May、June、July、August、September、October、November、および December です。</p> <p><i>start-time</i> および <i>end-time</i> 引数の値は、<i>hh:mm</i> フォーマットです。</p> <p><i>offset-minutes</i> 引数の範囲は、0 ~ 1440 分です。</p>
ステップ 3	<p>exit</p> <p>Example:</p> <pre>switch(config)# exit switch#</pre>	<p>グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。</p>
ステップ 4	<p>(Optional) show clock detail</p> <p>Example:</p> <pre>switch(config)# show clock detail</pre>	<p>設定された MOTD バナーを表示します。</p>
ステップ 5	<p>(Optional) copy running-config startup-config</p> <p>Example:</p> <pre>switch# copy running-config startup-config</pre>	<p>実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。</p>

デバイスクロックの手動設定

デバイスがリモートの時刻源にアクセスできない場合、クロックを手動で設定できます。

Before you begin

タイムゾーンを設定します。

SUMMARY STEPS

1. **clock set** *time day month year*
2. (Optional) **show clock**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	clock set <i>time day month year</i> Example: <pre>switch# clock set 15:00:00 30 May 2013 Fri May 30 15:14:00 PDT 2013</pre>	デバイス クロックを設定します。 <i>time</i> 引数のフォーマットは <i>hh:mm:ss</i> です。 <i>day</i> 引数の範囲は 1 ~ 31 です。 <i>month</i> 引数の値は January 、 February 、 March 、 April 、 May 、 June 、 July 、 August 、 September 、 October 、 November 、および December です。 <i>year</i> の引数の範囲は 2000 ~ 2030 です。
ステップ 2	(Optional) show clock Example: <pre>switch(config)# show clock</pre>	現在のクロック値を表示します。

クロック マネージャの設定

Cisco Nexus デバイスのコンポーネントのすべてのクロックを同期するように、Clock Manager を構成できます。

手順の概要

1. **clock protocol** *protocol*
2. (任意) **show run clock_manager**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	clock protocol <i>protocol</i> 例： <pre>switch# clock protocol ntp</pre>	クロック マネージャを設定します。 <i>protocol</i> 引数の値は ntp 、 ptp 、および none です。 次に、値について説明します。 <ul style="list-style-type: none"> • ntp : クロックとネットワーク タイム プロトコル (NTP) を同期します。 • ptp : IEEE 1588 で記述されているとおりに、クロックを高精度時間プロトコル (PTP) と同期します。 • none—clock set HH:MM:SS を使用します。スーパーバイザ クロックを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>(注) none を使用する場合は、クロックを構成する必要があります。</p> <p>(注) プロトコルが構成されたら、クロックはそのプロトコルを使用する必要があります。</p>
ステップ 2	<p>(任意) show run clock_manager</p> <p>例 :</p> <pre>switch# show run clock_manager</pre>	クロック マネージャの設定を表示します。

ユーザーの管理

デバイスにログインしたユーザの情報を表示したり、それらのユーザにメッセージを送信したりできます。

ユーザ セッションに関する情報の表示

デバイス上のユーザセッションに関する情報を表示できます。

SUMMARY STEPS

1. **show users**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<p>show users</p> <p>Example:</p> <pre>switch# show users</pre>	ユーザセッションを表示します。

ユーザーへのメッセージ送信

デバイス CLI を使用して、現在アクティブなユーザにメッセージを送信できます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show users**
2. **send [session line] message-text**

DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show users Example: switch# show users	アクティブなユーザセッションを表示します。
ステップ 2	send [session line] message-text Example: switch# send Reloading the device is 10 minutes!	すべてのアクティブなユーザまたは特定のユーザにメッセージを送信します。このメッセージは最大80文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。

デバイス コンフィギュレーションの確認

構成を確認するためには、次のいずれかのコマンドを使用します。

コマンド	目的
show running-config [exclude] <i>command</i> [sanitized]	<p>現在の実行コンフィギュレーションまたはそのコンフィギュレーションのサブセットの内容を表示するには、該当するモードで show running-config コマンドを使用します。Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F 以降、次のモードが Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチでサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • exclude : (任意) 特定のコンフィギュレーションを表示から除外します。 <p>Note exclude キーワードのあとに <i>command</i> 引数を指定し、表示から特定のコンフィギュレーションを除外します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コマンド : (任意) 1つのコマンドのみを、または指定のコマンドノード下で使用可能なコマンドのサブセットを表示します。 • sanitized : (任意) 安全な配布と分析のためにサニタイズされたコンフィギュレーションを表示します。 <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • インストール固有のパラメータを使用せずにアクティブな実行コンフィギュレーションの内容を表示するには、コマンドを sanitized キーワードを指定して使用します。IP アドレスなどの一部のコンフィギュレーション詳細情報は、異なるアドレスで置き換えられます。サニタイズされたコンフィギュレーションを使用すると、コンフィギュレーションの詳細情報を公開せずにコンフィギュレーションを共有できます。 • 管理コンフィギュレーションモードでコマンドが入力されると、システムで設定された論理ルータを含む管理プレーンのコンフィギュレーションが表示されます。任意のグローバルコンフィギュレーションモードまたは EXEC モードでコマンドを入力すると、特定のセキュアドメインルータ (SDR) のコンフィギュレーションが表示されます。
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。
show time-stamp running-config last-changed	実行構成が最後に変更されたときのタイムスタンプを表示します。

次に、コマンドで **sanitized** キーワードを指定した場合の出力例を示します。サニタイズされたコンフィギュレーションを使用することにより、コンフィギュレーションを、その詳細を表示せずに共有することができます。

```
switch# show running-config sanitized

Building configuration...

!! Last configuration change at 05:26:50 UTC Thu Jan 19 2009 by <removed>
!
snmp-server traps fabric plane
snmp-server traps fabric bundle state
hostname <removed>
line console
exec-timeout 0 0
!
exception choice 1 compress off filepath <removed>
logging console debugging
telnet vrf <removed> ipv4 server max-servers no-limit
snmp-server ifindex persist
snmp-server host 10.0.0.1 traps version <removed> priv <removed> udp-port 2555
snmp-server view <removed> <removed> included
snmp-server community <removed> RO LROwner
snmp-server community <removed> RO LROwner
snmp-server group <removed> v3 priv read <removed> write <removed>
snmp-server traps snmp
snmp-server traps syslog
interface Loopback10
!
interface Loopback1000
!
--More--
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。